

図書紹介

『2020』



甲陽学院中学校 図書委員会

目次

- ・死にがいをもとめていきているの
- ・ジェリーフィッシュは凍らない
- ・レンタルチャイルド
- ・バッテリー
- ・ぼくらの七日間戦争
- ・星の王子様
- ・きよしこ
- ・かがみの孤城
- ・毒 POISON
- ・追想五断章
- ・三銃士
- ・海底二万マイル
- ・蜘蛛の糸
- ・地獄変
- ・謎解きはディナーのあとで
- ・ビブリア古書堂の事件手帖
- ・烏は主を選ばない 八咫烏シリーズ
- ・キリン
- ・駄犬道中シリーズ
- ・超高速！参勤交代シリーズ
- ・アルジャーノンに花束を
- ・よるのばけもの
- ・ツナグ
- ・羊と鋼の森
- ・空想科学読本
- ・パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々

<p>今年はコロナウイルスの影響で家にいる時間が長くなったのではないのでしょうか。この機会に本を読んでみてはいかがでしょう。図書委員の選りすぐりの本を集めましたので読んでいただけると幸いです。</p>	
タイトル	死にがいを求めて生きているの
作者	朝井 リョウ
出版社	中央公論新社(2019)
<p>この本は、作家達が同じテーマで執筆する「螺旋プロジェクト」の作品の一つだ。病院で植物状態のまま眠る智也と、それを見守る雄介。2人の過去が様々な人物の視点で描かれていく内、露わになっていく真実。</p> <p>「死ぬまでの時間を生きていい時間にしたいだけなんだ。」</p> <p>独創性を求められる世の中で若者たちは虚無感や焦りを感じる。朝井リョウが《平成》という時代を舞台に、「自分の価値」について問う物語。多少分厚い本だが、読み終えたときの充実感は大きく、とても考えさせられる。ぜひ読んでほしい一冊である。</p>	

タイトル	ジェリーフィッシュは凍らない
作者	市川 憂人
出版社	東京創元社 (2016)
<p>この本はミステリーで、第26回鮎川哲也賞受賞作である。小型飛行船「ジェリーフィッシュ」が、航空試験中にトラブルを起こし、雪山に不時着してしまう。助けが来るのを待っていると、一人一人と乗組員が殺されていく。数日後、警察がやってくると、全員が《殺されていた》。はたして犯人は誰なのか。現代の「そして誰もいなくなった」。ミステリー好きはもちろんのこと、どんな人でも十二分に楽しめる作品。是非読んでもらいたい。</p>	

タイトル	： レンタルチャイルド
作者	： 石井 光太
出版社	： 新潮社（2010）
<p>路上にたむろする薬物依存症の少年の乞食達。</p> <p>その後ろにあるマフィアという悪の存在。</p> <p>なんとなくでつぶされた目、斧によって切られたままの腕、剃刀によって顎までえぐれた顔。</p> <p>これはインドの都市ムンバイで、よく見られた光景である。</p> <p>日本では想像もできないようなことが横行するインドにおいて『レンタルチャイルド』とはどういうことを意味するのか、ぜひ自分の目でたしかめてほしい。</p>	

タイトル	： バッテリー
作者	： あさのあつこ
出版社	： KADOKAWA(1996)
<p>「そうだ、本気になれよ。本気で向かってこい。関係ないことすべて捨てて、俺の球だけを見ろよ。」岡山県境の地方都市、新田に引っ越してきた原田巧。天才ピッチャーとして絶大な自信を持つ巧の前に、同級生の永倉豪が現れ、彼とバッテリーを組むことを熱望する。ジャンルを超え、大人も子供も夢中にさせた有名な本です。</p>	

タイトル	： ぼくらの七日間戦争
作者	： 宗田 理
出版社	： 角川文庫(1985)
<p>夏休みの直前のある日、東京下町にある中学校の 1 年 2 組の男子生徒全員が姿を消した。彼らは工場跡に立てこもり、体面ばかりを気にする教師や親、大人たちへの叛乱を起こした。大人たちの悪事を暴き、数々のアイデアで懲らしめる痛快なエンターテインメントシリーズ最高傑作。</p> <p>「良い人間」となることを押しつける今の社会に一石を投じる。</p>	

タイトル	： 星の王子さま
作者	： サン＝テグジュペリ 訳：管 啓次郎
出版社	： KADOKAWA (2011)
<p>砂漠で不時着した主人公が出会った一人の王子さま。彼方の惑星で孤独に育った王子さまはちょっと生意気で、それゆえ際立つ純真さがある。王子さまが地球にくる過程で出会った様々な人、動物、植物と交わしたその純粋な言葉に思わず立ち止まってしまう。高度に発展した情報社会の中で、数字、規則、固定観念、大人の奴隷となってしまった「子供たち」にこそ、温かい言葉の数々に触れてほしい。きっと真に子供であることの大切さがわかると思う。</p>	

タイトル	： きよしこ
作者	： 重松 清
出版社	： 新潮社(2005)
<p>主人公のきよしは吃音症だったので、自己紹介で「きよし」の「き」が言えずにどもってしまったり、言いたいことがうまく言えなかったりと話すことが苦手な性格でした。また、そのことに対して歯がゆさやもどかしさを感じられるような少年でした。</p> <p>あるクリスマスの夜、不思議な「きよしこ」と出会ってから、新しい出会いや喧嘩、別れなどいろいろな経験を少年はしていきます。</p> <p>ぜひ、自分で読んでこの少年がどのように成長していくのかを見てください。</p>	

タイトル	： かがみの孤城
作者	： 辻村 深月
出版社	： ポプラ社（2017）
<p>主人公の「こころ」は学校で居場所をなくし、自分の部屋に閉じこもっていた。</p> <p>ある日突然部屋の姿見が光り出した。光り輝く鏡の中に入り、奥にあったのは立派な門構えのまるで西洋の童話で見るような城だった。そこには狼の面をかぶった少女がいた。</p> <p>またそこには自分と同じような境遇で同じ中学生くらいの 7 人が集まっていた。この 7 人はなぜこの城に集められたのか。また、この 7 人がこの後どうなるのか。この先は自分で読んでぜひ確かめてください。</p>	

タイトル	： 毒 POISON
作者	： 赤川次郎
出版社	： 集英社(1984)
<p>アフリカから研究員の松井先生が持ち帰った毒を週刊誌屋の秋本が盗むところから始まり、やがて、その毒は色々な人の手に渡っていく。たとえその渡った人が刑事だろうが、スターだろうが、ささいな憎悪で、その人は簡単にその毒を使おうとする。</p> <p>また、その毒を取り返そうと、松井先生の助手の直子は、ついに毒のあり処を特定して、取り返そうと、現場に向かう。</p> <p>いったいこの毒はどうなってしまうのか。</p> <p>毒を“使おう”とする犯人、毒を“取り返そう”とする直子。この結末をぜひ確かめてほしい。</p>	

タイトル	： 追想五断章
作者	： 米澤 穂信
出版社	： 集英社（2012）
<p>平成五年、大学を休学して叔父の古本屋に居候中の菅生芳光（すごうよしみつ）のところに、ある女性から、死んだ父が書いた五編の「結末のないストーリー（リドルストーリー）」を探してほしいという依頼だった。女性の手元には「リドルストーリー」の「解決編」だけがあった。</p> <p>『決まりの悪い作り笑いで、暗がりから女の子が現れた』</p> <p>『どうやら一刀の下に、男の首は落とされたものらしかった』</p> <p>これらの解決編は一体何を示しているのだろうか。</p> <p>菅生は情報を集めると依頼者の父が「アントワープの銃声」の容疑者だとわかる。そして五編の「リドルストーリー」を探しそれを遺した“本当の”理由がわかる。</p>	

その理由とは何だったのかぜひ確かめてほしい。

タイトル　：　三銃士

作者　　　：　A・デュマ

出版社　　：　講談社（2009）

「人生は一度しかない。おまえは、自分を十分に生かし、好機をつかんで天下に名をとどろかせるのだ。」そういって、父からやせた馬と体に合わない剣、そして、わずかなお金をもらう。主人公のダルタニャンはそれでも志を胸に秘め、花の都パリにたどりつく。そこで、3人の勇敢な銃士アトス・ポルトス・アラミスに出会う。そんな彼らと共に国家をゆるがす陰謀に立ち向かっていく。そんな4人の銃士が命をかけた冒険活劇が始まる。そんな4人の銃士の勇姿をぜひ見てみてください。

タイトル　：　海底二万マイル

作者　　　：　ジュール・ベヌル

出版社　　：　ポプラ社（2005）

この本では一八六六年に起こった奇妙な事件が起こります。これをきっかけにして主人公と仲間の二人はネモ艦長と共に、潜水艦ノーチラス号に乗って未知である海底旅行をすることになります。日がたつにつれて主人公は、偉大だが謎の多い艦長と潜水艦ノーチラス号に疑問と不審を抱くようになります。そんな中、ノーチラス号で様々なトラブルが起こります。主人公と仲間の二人、そしてノーチラス号はどうなるのか。ぜひこの本を読んで結末を確認してみてください。

タイトル	： 蜘蛛の糸
作者	： 芥川 龍之介
出版社	： ？（写真は角川文庫）
<p>「蜘蛛の糸」という題名は聞いた人も多いと思います。地獄にいた犍陀多是、罪人でしたが一匹の蜘蛛を救ったことがありました。お釈迦様は、極楽から彼へ細い「蜘蛛の糸」を降ろしました。しかし、彼はその糸で自分だけが助かろうとしたのです。彼は再び、地獄の底へ落されてしまいました。最後の段落は、その後の極楽の様子について書いています。人が一人地獄に落ちても、何も起こらなかったかのように、極楽の時間は進んでいきました。これまで何人の救われるべき人々が、地獄へ戻ったのでしょうか。</p>	

タイトル	： 地獄変
作者	： 芥川 龍之介
出版社	： ？
<p>この物語の前提には「絵仏師の執心」という古文があります。</p> <p>家が火事になり、妻子を残したまま出て来た絵仏師の良秀は、妻子を助けることなく、炎の描き方について考えていたのです。仕事に対する思いの強さゆえに、妻子を見捨てるひどい人になっていたのです。その物語の続きこそが「地獄変」です。</p> <p>良いことをした者は救われ、悪いことをした者は地獄へ落されるという意味の地獄変という絵を描くことになっていた良秀は、例のごとく人々を苦しめ、それをもとに絵を描いていたのです。しかし、それを許しておけない大殿様は良秀をこらしめようとします。地獄変という絵の意味とともに、良秀はどのような後の人生を歩んでいけばよいのでしょうか。</p>	

タイトル	： 謎解きはディナーのあとで
作者	： 東川 篤哉
出版社	： 小学館（2012）
<p>この本は、バラエティ要素も含めた面白いミステリーを書く東川篤哉が書いた、映画化もされたシリーズです。主人公はお嬢様でありながら刑事の宝生麗子が国立市で起きる数々の事件を（主に執事の影山が）解決していく物語です。この本の面白いところは、本来執事らしくいるべき影山が、主である麗子に向かって様々な悪口雑言を浴びせたりするところです。毎日少しずつ悪口のバリエーションが変わり、読んでいて飽きません。またこの本は、だいたいの本で普通なら書かれないであろう現場に行く「道」すがらの会話等も書かれています。この本は単行本版で図書館にあるのでよかったら借りてみてください！</p>	

タイトル	： ビブリア古書堂の事件手帖シリーズ
作者	： 三上 延
出版社	： メディアワークス文庫（2020 最新刊）
<p>この本は、本について書いてある「本」です。このシリーズの主な舞台は鎌倉にある小さな古書店です。その店にいる若い女店主とそこでひょんなことから働くことになった若い青年とが、その店に寄せられてくる様々な謎を解き明かしていくーという話です。この本は本題の謎のほかにも店主と青年の恋の展開もあり、それに至る「道」すじも読んでいて面白いです。このシリーズは図書室にも置いてあるので、よかったら借りて読んでみて下さい！ちなみに、現在はその二人の娘が主人公となっているシリーズも出ています。</p>	

タイトル	： 鳥は主を選ばない 八咫鳥シリーズ
作者	： 阿部 智里
出版社	： 文春文庫（2015）
<p>まず初めに言っておくと、これは八咫鳥シリーズの二巻目にあたる。</p> <p>何故かと言われると、僕が初めて触れた八咫鳥シリーズが二巻であり、四年前この本を読んだときの興奮を今でも忘れられないからである。</p> <p>一巻と二巻は同じ時間軸の対となる物語だからネタバレはないはずだ。</p> <p>この物語は、山神さまが開いたと伝えられる世界「山内」が舞台である。山内に住む八咫鳥たちは卵で生まれ人の姿で暮らし鳥となって空を飛ぶことができるのだ。</p> <p>舞台設定は日本の中世に近い。この物語の主人公である雪哉は北領垂水郷郷長の次男であり、家族を愛する、巷では「ぼんくら次男」と呼ばれており、ひょんなことに山内を治める金鳥の跡取りの若宮、巷で「うつけの若宮」と呼ばれる奈月彦に仕えることとなることから物語は始まる。</p>	

タイトル	： キリン
作者	： 山田 悠介
出版社	： 角川文庫（2010）
<p>この小説はただただ主人公が気の毒で仕方がない。</p> <p>だけど気の毒で泣けてくる話ではなかった。</p> <p>母厚子は夫はいらないが子供は欲しい。そんな人間であった。そんな厚子の救世主は天才の遺伝子をオークションで売るジーニアスバンクであった。</p> <p>厚子はジーニアスバンクで何十万ものお金で落札した。そして生まれたのが秀才と麒麟だった。はじめは順調だった。だがある時から麒麟にはキリンのようなシミが浮かびはじめた。それから麒麟は母や兄から見捨てられてしまう。僕はこの小説で最も印象に残ったものは絵だった。ネタバレとなってしまうが麒麟は絵の才能をもっていた。その麒麟が描いた絵はとても印象に残るものだった。その絵がどんなものかは本書に書かれている。</p>	

タイトル	駄犬道中シリーズ
作者	土橋 章宏
出版社	小学館（2016・2017）
<p>博打で五十両の借金を抱えた辰五郎と奉公からぬけ出してきた三吉、入水自殺しようとしていた小夜、麗光院の代参犬の翁丸の四人（匹）でおかげ参りに行き、途中で赤布の親分の手先につかまり、將軍を影武者のふりをさせて命を救い、百両をもらったらすぐに手先に全てうばわれた。こんぴら参りに行く途中でねずみこぞうに会い、共にこんぴらの埋蔵金を盗み出し、実の父と花札で勝負した。</p>	

タイトル	超高速！参勤交代シリーズ
作者	土橋 章宏
出版社	講談社（2015・2016）
<p>1753 年、磐城湯長谷藩の金山を我が物にしようと画策し、老中、松平信祝は通常なら十日かかるところをわずか五日で参勤せよとの命を発した。無理な沙汰を言いつけられた藩主、内藤政醇は家臣と東国一の忍びを率いて参勤し、取り潰しをさせて、信祝の陰謀を暴いた。交代の途中で信祝が二日で交代を終えて、江戸城天守閣再建の沙汰を下す。尾張柳生七本槍が内藤たちを狙う。妙案と頓智で難所を切り抜けていく殿と家臣の爽快劇です。</p>	

タイトル	： アルジャーノンに花束を
作者	： ダニエル・キイス
出版社	： 早川書房（2015）
<p>32 歳になっても幼児並みの知能しかないチャーリー・ゴードン。彼がこの物語の主人公だ。そんな彼に夢のような話が舞い込んだ。大学の先生が頭を良くしてくれるというのだ。彼はこれにとびつき、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に検査を受ける。やがて手術によりチャーリーの知能は向上していく・・・</p> <p>天才に変貌した青年が愛や憎しみ、喜びや孤独を通して知る人の心の真実とは。</p> <p>世界的に人気のある不朽の名作である。ぜひ一度読んでみてもらいたい。</p>	

タイトル	： よるのばけもの
作者	： 住野よる
出版社	： 双葉社（2016）
<p>これは、夜になると「化け物」になる安達と、いじめられっ子・矢野の物語。</p> <p>中学生の安達は夜になると、黒い体、六つの足、八つの目玉を持つ「化け物」になる。</p> <p>ある日、安達は学校に宿題を忘れたことに気づき、夜中に取りに行く。</p> <p>すると教室には矢野がいて安達は正体がばれてしまう。その後安達は、彼女の「夜休み」に付き合うようになる。今まで学校ではみんなに合わせて矢野を無視してきた安達だが、徐々に気持ちに変化が表れていく・・・最終的に安達はある決意をする。</p> <p>ぜひ自分の目で確かめてほしい。</p>	

タイトル	： ツナグ
作者	： 辻村美月
出版社	： 新潮文庫（2012）
<p>一生に一度だけ死者との再会を叶えてくれる仕組みの名前がツナグ。この話の中ではたくさんの人たちがツナグの仲介で死者と再会します。再会したいと思った理由は人それぞれ。再会したことを逆に後悔することになる人も作中にでてきます。</p> <p>この小説はハッピーエンドととらえられない面もありますが人間の明るい部分が強調される小説と比べて共感できる場所が多い面白い小説です。ぜひ読んでみてください。</p>	

タイトル	： 羊と鋼の森
作者	： 宮下奈都
出版社	： 文春文庫（2018）
<p>この本は「調律」という言葉の意味すら知らなかった高校時代に、偶然ピアノの調律に立ち会った外村がピアノ調律師として成長していく話。耳が特別よいわけでも手先が器用なわけでもない外村が美しい音を創造できるようになっていく過程が書かれている。</p> <p>ちなみに、ピアノは打楽器で、羊の毛でできたハンマーで鋼を打つことで音を出すしくみになっている。本のタイトルはそこからきている。</p>	

タイトル	： 空想科学読本
作者	： 柳田理科雄
出版社	： 空想科学文庫（1996）
<p>今回紹介するのは柳田理科雄が書いた、空想科学読本という本です。この本は映画やアニメ、漫画など、身近な空想の世界でいつの間にか「常識」となっているいくつかの設定やアイテム、例えば、変身や巨大化、高速移動、光線、バリアなどこれらが科学的にみるとどこまで正しいのだろうか、これららを無理やり実現させようとしたらいったいどんなことが起こるのだろうか、ということをかいた本です。</p> <p>科学が好きでなくても楽しんで読める本なのでぜひ読んでみてください。</p>	

タイトル	： パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々
作者	： リック・リオーダン
出版社	： ほるぷ出版（2005）
<p>今回紹介するのは「パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々」という本です。この本は海の神ポセイドンと人間の子、パーシー・ジャクソンがオリンポスの神々の父であるクロノスを倒す大予言の子供だと言われ、神と人間の子であるハーフを訓練するためのハーフ訓練所に入り、クロノスを倒す訓練をする。一方様々な神やハーフたちがオリンポスの神々を裏切り、クロノスの手下となる。はたしてパーシーはクロノスを倒し、地球を守ることができるのか、ぜひ本屋や図書室でお手に取って読んでみてください。</p>	

図書委員長 3 B 玉川 稜

図書委員 3 A 福田 晃次郎

1 A 安部 康之介

3 C 竹澤 友真

1 B 伊藤 弦希

3 D 豊饒 翔貴

1 C 飯山 良偉

3 E 佐藤 凜生

1 D 伊藤 崇人

2 A 鎌谷 和輝

1 E 今岡 悠悟

2 B 丸尾 吉征

2 C 山田 士琉

2 D 齊藤 綾人

2 E 竹下 遥也

